

登録コード	HM123900	開講年度	2026			
授業題目	眼科学論文演習				担当教員	村田 敏規 他
英文授業名	Thesis Seminar in Ophthalmology				副担当	平野 隆雄
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	2
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				種々の眼疾患の新しい治療法を開発することが最終目標であるが、そのために過去の治療法、現在の治療法の、病態に即した知慮崩壊初の経過と、何故、それぞれの治療法が効果があり、他の治療よりも優先して選択され行われているのかを、理解し説明できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	眼科学の進歩は日進月歩であり、最先端の情報を論文からえることは、研究を行う上で重要であり、さらには自分の研究の世界での位置づけを知り、さらに、世界に論文を発信する上で重要であると考えらる。 自分で文献を検索し、問題意識をもち、何を解決すべきか、どうすれば解決できるのかを考える力を養うことを目的とする					
(3)授業の概要/Overview of course	PubMedでテーマごとに論文を探すことをまなび、信州大学の医学図書館での論文を電子ジャーナルを中心に手に入れる方法を学ぶ。さらにこれを各人で読み、理解して、指導教官との読み合わせに望む。第13回から15回では、眼科の抄読会での発表を担当して、多くの医師からの評価と助言をもらい、プレゼンの技術も学ぶ					
(4)授業計画/Course plan	第1回 角膜分野の最新の研究論文を検討する 第2回 線維柱帯の最新の研究論文を検討する 第3回 虹彩の最新の研究論文を検討する 第4回 シュレム管の最新の研究論文を検討する 第5回 眼病理の基礎を英語の教科書で学ぶ 第6回 水晶体の最新の研究論文を検討する 第7回 毛様体の最新の研究論文を検討する 第8回 網膜の最新の研究論文を検討する 第9回 OCT-Angiographyの最新の研究論文を検討す 第10回 蛍光眼底造影の最新の研究論文を検討する 第11回 網膜閾値下レーザーの研究論文を検討する 第12回 スペキュラマイクロスコープの論文を検討する 第13回-第15回 第12回までの論文の中から3編をえらび、眼科の抄読会で報告し発表する					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	毎回の授業で、論文の理解度を5点満点で評価する 13回から15回の多くの眼科医の前での抄読会での発表は10点満点で評価 レポート点を10点与える (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(10点)」。4項目までできていれば「やや上にある(6点)」。3項目までできていれば「水準にある(3点)」 得点の60%以上を合格点とする					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	論文はPubMedで検索するので、PubMedの使い方を習得しておくことが必要 論文から学んだことは、日々の診療において実用に役立てるように心がける					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問相談は随時 指導教官が担当して 相談指導に当たる					
(8)授業の形式/Course format	対座方式で行う					